

はあ〜てい

vol.229
2016年5月号

益田市の
社協
だより



この広報紙には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

益田市社会福祉大会

～寄り添い・支えあい・助け合う～

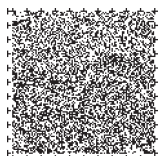


去る2月26日(金)、益田市総合福祉センターにおいて「第33回益田市社会福祉大会」が開催され、益田市長をはじめとするご来賓と、福祉関係者や市民の皆さまなど約200人が出席されました。

式典では、福祉活動の功績顕著な方々に対し、齋藤会長から表彰状及び感謝状を贈呈しました。

その後、少年の主張益田市大会最優秀賞受賞者の東陽中学校の細谷耕心さんの発表や、認知症についての講演、健康体操が行われました。

最後に、地域福祉の推進に邁進することを誓って、大会宣言決議を行いました。



すてっぶ居宅介護支援事業所の戸佐間恵子さんによる講演



健康運動指導士の美原愛子さんによる健康体操

平成28年度 益田市社会福祉協議会 事業基本方針及び一般会計予算

去る3月28日、評議員会において、新年度の事業及び予算が承認されました。市民の皆様や関係機関・団体と連携・協働して、福祉社会づくりに努めてまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

急速な少子高齢化と人口減少への不安とともに、様々な生活・福祉課題が深刻化し広がっています。特に、生活困窮や社会的孤立の問題が顕在化しています。

福祉ニーズが多様化、複雑化する中で社会福祉法人の役割が重要となっています。そうした中、社会福祉法人制度改革が進められており、①公益性、非営利の徹底、②国民に対する説明責任、③地域社会への貢献、の3点が基本的視点となっています。

制度の狭間の問題や社会的孤立の問題を解決し、地域の福祉力を高めていくためには、地域住民や社会福祉事業関係者、行政等が、ともに地域福祉を推進するパートナーとして、地域の生活・福祉課題に気づき・受け止め、包括的・継続的に支援し、暮らしを支える仕組みづくりに取り組んでいくことが必要です。

そうしたことから、市と一体となって策定した第2期益田市地域福祉（活動）計画の積極的な推進に

努め、関係機関・団体等との連携強化、地域福祉活動の協働推進を図りながら、福祉的援助を必要とする人々が疎外されることなく、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりをより一層進めていきます。

特に、支え合いマップづくりを通じた地域福祉力の強化と、平成27年度から実施している「生活困窮者自立支援事業」では、社協機能を活かした事業推進に努め、相談者に寄り添いながら自立支援を行います。また、介護保険法改正による地域包括ケアシステムの構築と推進、地域支援事業移行への対応検討・準備を進めるとともに、介護報酬見直しに対する検討と経営努力を進め、健全な事業運営を目指します。

さらに、春日荘事件判決後対応に係る特別委員会報告を受け、今後の施設管理のあり方として指摘された事項について、組織全体の課題・問題として捉え、施設の適正な運営管理と再発防止に努めます。

重点目標



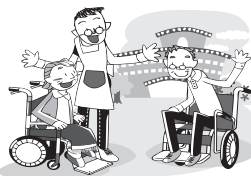
1. 福祉のまちづくりの推進



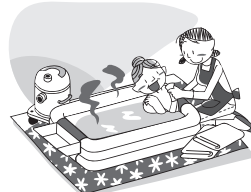
2. 総合的な相談・支援体制の整備



3. 社協基盤の強化



4. 施設の適正な運営管理と再発防止



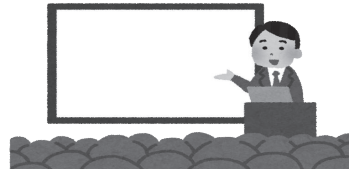
5. 在宅・施設サービスの推進



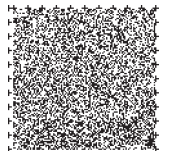
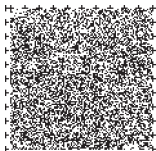
6. ボランティア・市民活動の推進

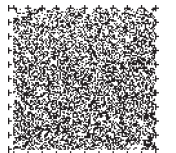
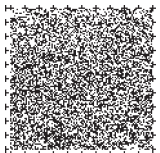
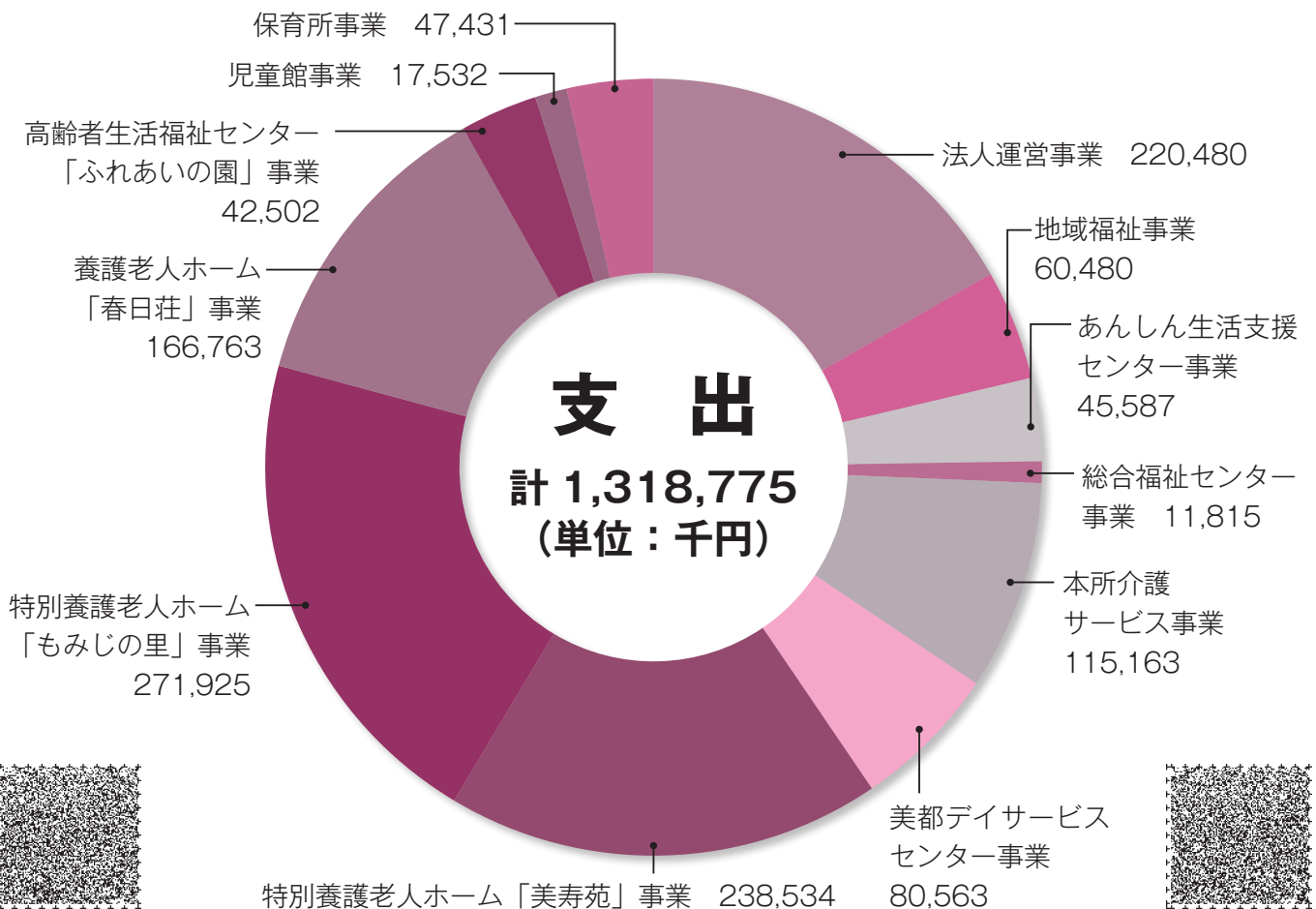
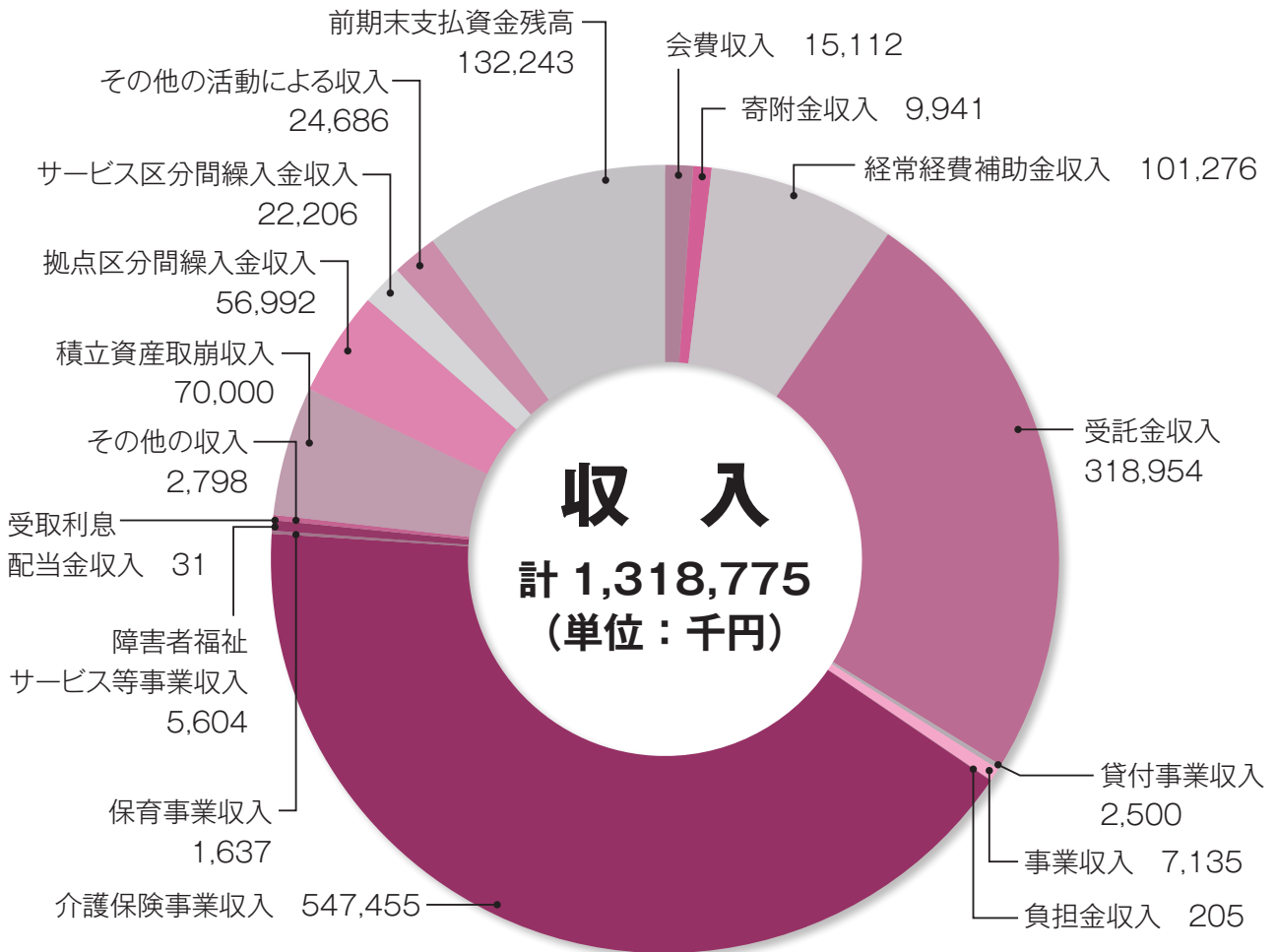


7. 福祉教育、及び啓発・交流の推進



8. 役職員研修の充実





第33回益田市社会福祉大会 表彰及び感謝状受賞者

順不同・敬称略

おめでとうございます。

ますますのご活躍をお祈りいたします。

【表彰】

民生委員・児童委員で

その功績が顕著な者

中山 景子 (久城町)

田家 俊文 (美都町都茂)

社会福祉施設、地区社協・団体等の

役員での功績

石田 基臣 (大谷町)

三浦 信治 (大草町)

竹下 繁 (元町)

社会福祉事業における永年勤続功労

須山 成顕 (横田町)

椋 美栄子 (安富町)

岡崎 丘香 (萩市)

藤井 初美 (向横田町)

青木 歩 (津和野町)

松本 恵美子 (幸町)

安岡 佐織 (昭和町)

三浦 始 (美都町都茂)

斎藤 良子 (美都町山本)

山鳥 一道 (美都町山本)

高山 早百合 (浜田市)

柳原 宏之 (向横田町)

寺戸 由岐江 (高津6丁目)

【感謝】

手話サークルつくしの会
たあびいちいろの会
産土の会

久城まめな会

あけぼのふれあいサロン

いきいき松露会

松ヶ丘遊友の会

よしみの会

中島 郭好 (白上町)

山田 澄子 (川登町)

宮隅 正 (高津1丁目)

澄川 雪雄 (浜松市)

中島 道 (遠田町)

西川 盛男 (匹見町紙祖)

嘉藤 和恵 (匹見町澄川)

石原 里美 (久城町)

加藤 禎之 (美都町朝倉)



「助けられ上手さん」になろう

3月29日(火)、益田市総合福祉センターで「支え合いマップからはじまるご近所福祉活動」をテーマに、「支え合いマップ」でおなじみの住民福祉研究所所長の木原孝久氏を講師に招いての研修会を開催しました。

誰もが住み慣れた地域でその人らしく暮らしていくためにはご近所同士の助け合いが不可欠です。その一歩として、町内単位で住民の支え合いマップづくりに取り組み、みんなで「助けられ上手さん」になろうと提案されています。「助け上手」と「助けられ上手」は表裏一体の関係であり、「支え合う」ことは、「結び合おう」ということ、木原氏自身の具体的な実践例をもとに講演されました。

益田市社会福祉協議会では、平成23年度から「支え合いマップ」によるご近所福祉を推進していますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

(益田市社会福祉協議会)

TEL 22-7256

公証人による無料相談会

～あなたを守る公正証書～

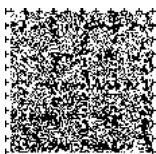
こんな不安や疑問をずっと抱えていませんか？
相続争い、老後の金銭管理、養育費、金銭・土地のトラブルなど

日時：6月17日(金)・10月21日(金) 10:00～16:00
場所：益田市総合福祉センター (益田市須子町3-1)

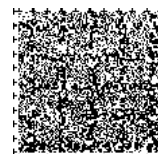
相談担当者：浜田公証役場 菊間徹公証人

※相談できる人数が限られていますので、事前に予約をお願いいたします。

※公証役場は国の機関です。秘密は厳守されます。



予約・問い合わせ 生活支援課 TEL22-7256 FAX23-4177
担当：羽板 (はいた)



平成28年度 地域福祉活動

助成事業の募集

益田市社会福祉協議会では、先駆的な地域福祉事業に対し、市民の皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金並びに社協会費、善意寄付金等を原資とする助成を行っています。

【助成対象事業】

- ① 社会福祉活動に関する啓発、指導者等の養成訓練事業
- ② 在宅福祉等普及向上の事業
- ③ 健康生きがいづくり事業
- ④ ボランティア等活動活性化事業
- ⑤ その他、地域福祉の向上に関する事業

【助成金額】

助成の対象は事業の経費総額の三分の二以内とし、三十万円を限度とします。

詳しい内容は、益田市社会福祉協議会までお問合せください。

【締め切り】

平成28年6月7日(火)

【問合せ先】

益田市社会福祉協議会
地域福祉課 ☎ 22-7256

善意の輪

平成28年2月1日～平成28年3月31日
敬称略

【香典返し】

(故) 寺井 恭祐 (美都町仙道)	(故) 飯塚 正 (広島市)	(故) 須郷田久江 (多田町)	(故) 大石 豊 (須子町)	(故) 西本 由成 (幸町)	(故) 品川 晴美 (横田町)	(故) 西本 正幸 (高津六丁目)	(故) 亦賀 統佳 (西平原町)	(故) 柳井 千弘 (白上町)	(故) 小原 敏雄 (遠田町)	(故) 大畑 公子 (東町)	(故) 寺井 征三 (乙吉町)	(故) 久米 公子 (東町)	(故) 大畑 百合子 (中島町)	(故) 三谷 浄 (波田町)	(故) 永岡 宗法 (浜田市)	(故) 西村 久美子 (高津町)	(故) 川崎 吉久 (木部町)	(故) 三家本清志 (久城町)	(故) 渋谷ヒサヨ (西平原町)	(故) 熊谷 和子 (須子町)	(故) 齊藤カズエ (東町)	(故) 雪村 聰 (高津五丁目)	(故) 小山 竜一 (東町)	(故) 野廣 康彦 (東町)	(故) 和崎 良三 (久城町)	(故) 田中ツル子 (高津六丁目)	(故) 梅田 幸壽 (土田町)	(故) 土橋 寛行 (喜阿弥町)	
金一封	五十万円	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封

【見舞返し】

(故) 渡里 勝廣 (匹見町石谷)	(故) 大石 伸行 (匹見町匹見)	(故) 関口フジエ (匹見町紙祖)	(故) 齋藤 正顕 (匹見町紙祖)	(故) 三浦 義朝 (匹見町匹見)
金一封	金一封	金一封	金一封	金一封

【二般寄付】

匿名	金一封
----	-----

皆様から寄せられました善意の寄付金は、ご意志に沿って、地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

誠にありがとうございました。

「平成27年度特別会員・賛助会員一覧」掲載についてのお詫び

「はあらい3月号」で、別紙として「平成27年度益田市社会福祉協議会特別会員・賛助会員一覧」を掲載しておりますが、特別会員(美都支所扱い分)の「(有)コアンム」様のお名前が漏れておりました。ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

また賛助会員として、新たに「小野中学校」様からご協力いただきました。誠にありがとうございました。

ふれあい福祉相談のご案内 5月・6月の相談日

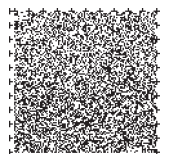
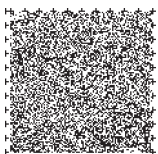
場所：益田市総合福祉センター

	無料法律相談 13:00～15:00 (要予約)	ふれあい福祉相談 10:00～15:00	老人母子相談 10:00～15:00
5月	13日(金)	13日(金)	13日(金)・27日(金)
6月	10日(金)	10日(金)	10日(金)・24日(金)

家庭内外のトラブルや心配ごと等、広く日常生活上の相談をお受けしています。どこに相談したらいいの?という時、ふれあい福祉相談をご利用下さい!

問い合わせ
予約

益田市社会福祉協議会 ☎ 22-7256
(月～金 8:30～17:30)



平成28年度 益田市総合福祉センター老人・母子講座のご案内

総合福祉センターでは、老人・母子福祉事業の一環として、教養を高め、明るく豊かに過ごしてもらうため、また母親と児童の相互理解を深め、福祉の向上を図るため老人・母子講座を開催しております。今年度は下記のとおり行いますので、是非ご参加下さい。

対象は、60才以上の方及び母子・寡婦の方です。

講座名	社交ダンス教室 (初心者・中級者)	囲碁教室	習字教室	手編教室	園芸教室	いきいき健康教室 (筋肉トレーニング)
期 間	5月20日～3月10日	6月11日～11月12日	5月10日～3月14日	5月14日～3月11日	5月20日～3月17日	5月20日～3月3日
期 日	毎月 第2金曜日 (初回第3金曜日・8月第1金曜日)	毎月 第2、4土曜日 (8月第1土曜日)	毎月 第2火曜日	毎月 第2土曜日 (8月第1土曜日)	毎月 第3金曜日	毎月 第1金曜日 (初回第3金曜日)
時 間	13:30～15:30	9:30～11:30	13:30～15:30	10:00～12:00	13:30～15:30	11:00～12:00
回 数	11回	11回	11回	11回	11回	11回
講 師	増野 栄一	田原 俊平	城市 霊泉	中田 登志枝	城市 政知	美原 愛子
集人数	40名程度	20名程度	20名程度	20名程度	20名程度	15名程度
受講料	無 料	無 料	無 料 (但し、実費必要)	無 料 (但し、実費必要)	無 料 (但し、実費必要)	無 料
内 容 その他	・初心者の方大歓迎。 ・毎月第4金曜日は自主的に実施。 ・ハイヒール等の靴は使用禁止です。	・初心者の方大歓迎。	・習字用具等は各自でご持参下さい。	・初心者の方大歓迎。 ・編み棒、かぎ針は各自でご持参下さい。	・材料代等は各自でご負担して下さい。	・膝、腰、股関節など痛みのある方、足腰に自信のない方大歓迎。 ・運動のできる服装でご参加下さい。
開 催 日 程 (予定)	5月20日・11月11日 6月10日・12月9日 7月8日・1月13日 8月5日・2月10日 9月9日・3月10日 10月14日	6月11日・9月10日 6月25日・9月24日 7月9日・10月8日 7月23日・10月22日 8月6日・11月12日 8月27日	5月10日・11月8日 6月14日・12月13日 7月12日・1月10日 8月9日・2月14日 9月13日・3月14日 10月11日	5月14日・11月12日 6月11日・12月10日 7月9日・1月14日 8月6日・2月11日 9月10日・3月11日 10月8日	5月20日・11月18日 6月17日・12月16日 7月15日・1月20日 8月19日・2月17日 9月16日・3月17日 10月21日	5月20日・11月4日 6月3日・12月2日 7月1日・1月6日 8月5日・2月3日 9月2日・3月3日 10月7日
会 場	大集会室	研修室	研修室	会議室B	ふれあい広場	娯楽教養室
益田市総合福祉センター						

- ※ 期日や会場は原則的であり、変更場合があります。
- ※ 申し込みは、平成28年5月6日金より電話でのみ受付をしますので、総合福祉センター (TEL22-7256・23-4177) までお願い致します。また、定員になりしだい締め切りさせていただきます事をご了承下さい。詳しいことは、益田市社会福祉協議会(総合福祉センター)へお問い合わせ下さい。平成28年5月6日以前の受付、及び土・日曜日の受付は行っておりませんのでご了承下さい。
- ※ 当講座内での物品の販売、センター講座以外への勧誘行為は禁止します。そのような行為を発見・確認しましたら当講座を辞めて頂く場合もありますのでご理解下さい。



「もったいない」を「ありがとう」に

平成27年度益田市ボランティアセンター研修会
3/16(水) 益田市総合福祉センターにて開催

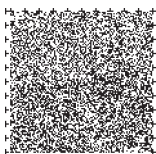
フードバンク活動について理解を深めようと、安来市社協から足立卓久氏をお迎えして、フードバンクの概要と、全国ニュースでも取り上げられた安来市社協の取組について講演いただきました。

講演では、増え続ける生活困窮者に対して食料支援を行っている安来市社協の事例を分かりやすく説明していただきました。なかでも、フードドライブ(ひとり一品運動)は、ご家庭にある缶詰やレト

ルト食品などの保存食品を募り、生活に困っている方に提供する身近なボランティア活動として推奨され、参加者も頷きながら熱心に聴き入っていました。

益田市社協においても、昨年「益田市あんしん生活支援センター」を立ち上げ、生活困窮者支援を行っており、今年度からフードドライブ活動への取組の検討をはじめています。具体的な内容が決まりましたら、改めて皆さまにお知らせしますので、ご協力をお願いいたします。

フードバンクとは…「食料銀行」を意味する社会福祉活動で、まだ食べられるのに、さまざまな理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届ける活動のことを言います。



発行: 社会福祉法人 益田市社会福祉協議会 TEL: 698-0036 益田市須子町3-1
 編集: 益田市社会福祉協議会広報運営委員会 TEL: 0856-22-7256 FAX: 0856-23-4177
 社協e-mail: masuda_h@masuda-shakyou.or.jp
 「はあーてい」は英語で「心の温かい」、「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

社協ホームページ

